

ほほえみ通信

第146回 ほほえみ 開催

12月15日(水)第146回 ほほえみを開催しました。
今回は5名が参加してくれ、うち1名が初めての方でした。
参加に際しましては、感染予防対策のため手指消毒・検温・連絡先の確認
(感染予防にのみ使用)をさせていただいておりますので、ご協力をお願い
致します。

次回のほほえみは、1/19(水)14時から16時まで
本館3階 特別会議室での開催となります

【がんサロン事務局より】

『“がん”という時代』

(がん体験記)

昔、がんは“死の病”と恐れられていました。今のような治療法も確立されてはいなかったでしょう。そのため患者本人に、「がん」と告げることも少なかったように思います。

でも今は、告知は当たり前。

「簡単に“がんです”って言うよね～」と、驚く患者さんも多いようです。それほど現在では“治る病”になってきていること、そして、「患者と医療者みんなで一緒に闘っていきましょう」という意味もあるようです(今の時代、本人に隠し通すのも難しいですね)。

そして私たちも、周囲にがんであることを言えるようになってきました。

『日本人の2人に1人ががんになる時代』です。誰がなってもおかしくない。テレビなどでもがんの特集を組むことも多くなりました。

なにより、著名な方々のがん公表が社会の理解を大きく変えたようにも感じます。そして著名な方のがん公表が、どれほど私たちががん患者の勇気や希望につながっているか……。

がんは、もう“隠す病”ではないのかもしれません。公表する人がいて、それに勇気づけられる人がいる。

「一人じゃないよ」――。

その発信は、とても大きな勇気を与えてくれる言葉だと、私は思っています。

(北海道/女性/乳がん/がん患者本人)